

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)

平成26年度補正予算額 1.203百万円

化学物質分析の加速化等により、早期の成果公表を可能とさせ、もって子どもの成長発達に影響を 与える環境要因の解明を加速化させる。

事業内容

<u>エコチル調査とは、胎児期から小児期にかけての化学物質曝露が子どもの健康に与える影響を解明するための、長期的・大規模な追跡調査。</u>

<化学物質分析の加速化>

参加者から採取した生体試料に含まれる化 学物質の分析を、優先順位の高い血中重金 属に重点化することにより、分析・解析を加速。

<長期保管施設の整備>

参加者から採取した生体試料の長期保管に必要な施設を整備。



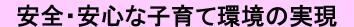
遺伝要因、生活習慣要因、社会要因等と併せて統計分析。

- ・胎児・新生児の発育異常
- ・先天奇形の発生
- ・小児の発達障害・精神異常
- アレルギー疾患
- -肥満

等の疾患との関連を解析







(参考)調査スケジュール(生体試料採取)

妊娠初期•中期

妊婦血液、尿の採取



- ・母の血液・毛髪、父の血液の採取
- ・ろ紙血(出生児)の採取
- ・臍帯血の採取

1ヶ月時

- ・赤ちゃんの毛髪の採取
- •母乳の採取

13歳の誕生日まで

・子どもの血液・毛髪・尿の採取(2歳、4歳(6歳以上は未定))